

# KENTA Report

発行/秋田県議会議員 鈴木健太  
〒010-0842 秋田市手形山北町 4-5  
TEL 018-883-0605 FAX 018-838-0785

鈴木けんた 県政レポート 2016冬号

『鈴木けんたホームページ』  
で、けんたの主張を聴いて  
みてくださいね！



県議会議員となって1年と7ヶ月が過ぎました。

選挙直後は「県政に新しい風を吹き込む！」と意気揚々だった私ですが、いざ議会に立ってみると「財源」、「規制」、「行政の公平性」、そして政治的な難しさ…とさまざまな「壁」にぶつかり続けています(^\_^;)

しかし初めから上手くいかないのは当たり前。これまで幾多の失敗を学びに変えてがむしゃらに頑張ってきました。直ちに皆様のご期待どおりの「目覚ましい成果」を出すのは難しいですが、今は謙虚に行政や政治の仕組みを勉強しながら、秋田の未来を変える力を養っているところでございます。

どうぞ引き続きのご指導ご声援を、鈴木けんたによりしくお願い申し上げます！

## 鈴木けんた

自由民主党 秋田県秋田市第11支部支部長



## 県政与党の若手だからこそできること

### これからの主要政策テーマ

導

1 次世代**公共交通**システムを研究し、**導入**をめざします

高齢者や子どもの暮らしに直結し、秋田の観光産業の課題でもある公共交通。全国一の少子高齢化県だからこそ、他県に先駆けて研究しなければなりません。未来の県民交通を担っていくのは自動運転バスなのか、次世代型路面電車なのか、超小型モビリティなのか、カーシェアリングなのか…次々と不可能が可能になっていく現代社会において、秋田県民が一番利用しやすい公共交通システムを研究し導入をめざしていきます。



2 秋田の外国人**観光客**を**倍増**します

人口減少が避けられない中、県外・国外からのお客様を増やすのが秋田の至上命題。しかし県がお客様を連れて来れるわけではなく、やはり民間事業者の営業活動がカギとなります。民間ではできないこと、行政がやるべきことは何なのかをしっかりと見極め、数値目標「平成31年に外国人延べ宿泊者数10万人泊」(平成26年は41,510人泊)を実現します。

具体的には、留学生の県内回遊を増やして県内事業者の外国人慣れを促進すること、秋田市中心市街地での観光拠点の整備などを目指していきます。



3 元気な**IT企業**を増やして若者の**県内就職**を促進します

今や全国で20兆円規模\*に成長し、ますます巨大化していくIT産業では全国的に人手不足が続いています。また東京や世界からの仕事を立地にあまり関係なく受注できるだけに、遠隔地としてのハンディが小さく本県でも十分に戦っていけるビジネスといえます。秋田をIT企業の集積地として発展させ、生まれ育ったふるさとで将来性ある仕事に就く若者を増やしていきます。

\*総務省・経済産業省「平成27年情報通信基本調査」における「ソフトウェア業」「情報処理・提供サービス業」「インターネット付随サービス業」の合計



促進



#### 【プロフィール】

昭和50年大阪府生まれ、神戸市育ち。小学校から高校まで野球部(一貫して弱小チーム)。京都大学法学部在学中は、料亭、バーや建設作業など様々な世界を経験する。大学卒業後、陸上自衛隊に幹部候補生として入隊、主に第一線部隊で勤務。平成18年退職し、妻の地元秋田へ移住。1年あまりの無職生活を経て司法書士試験に合格。現在司法書士として多くの相続事件を手掛けるとともに認知症高齢者の成年後見人も務める。妻と子4人の6人家族。趣味は子守り、ゴルフ、アウトドア全般。

#### 【現在の主な役職】

秋田県防衛協会 事務局長  
秋田県ミニバスケットボール連盟 顧問  
秋田県エアロビクス連盟 会長  
広面小学校 PTA副会長  
城東中学校 PTA副会長  
広面地区体協 理事  
広面商工振興会 事務局長  
秋田県司法書士会 理事  
公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート秋田支部 幹事  
平成26年度秋田商工会議所青年部 理事(国際交流事業担当)  
司法書士法人岡田事務所 共同代表



#### ・最近の私的日々

たまの休みはほとんど長男の野球部(たまに長女の卓球部)に使ってしまいます。スポ少は親が大変だとは聞いていましたが、面白いので大変というより完全に趣味と化している状態。付き合わされる下のきょうだいも楽しそうなので、家族のお出かけはあまりできないけどまあいっか…



6月議会で一般質問に立ちました！ —質問要旨—

①次世代の交通戦略

技術革新がめざましく進む中、2020年には自動運転車両が一部実用化される。一方本県では過疎地をはじめバス路線の減便・廃線があいつぎ、それがまた人口流出を招く悪循環に陥っている。これから団塊の世代が後期高齢者になっていく今、運転できない高齢者が増えるのは確実であるが、高齢化県である本県が率先して「次世代の公共交通戦略」を研究しなくてはならないのではないか。

②ICT産業の振興戦略

国内でのICT(情報通信関連)産業の規模は20兆円と飲食・宿泊産業の合計よりも大きく、しかも仕事はますます増えておりもはや人手不足である。そのような中、これまでオフショア(海外)に労働力を求めていたICT企業は、近年ニアショア(国内)に回帰し始めている。この産業は立地のデメリットが比較的小さく、実直な県民性も労働力として適しており、本県が優位性を発揮できる分野であるが基幹産業として育てていくべきではないか。

このほか、外国人観光客の誘致、新文化施設、放課後児童クラブの待機児童についても質問しています。詳しくは、『鈴木けんたの』

たホームページ』の県議会中継動画をご覧ください。

<http://suzuken-akita.com/>

9月議会では総括審査に立ちました！ —質問要旨—

①学校ネットパトロール事業

10年ほど前から「学校裏サイト」などで始まったネットいじめを監視するこの事業が、縮小されようとしています。最近は何人同士しか見られないSNSへとその舞台を移しているとはいえ、全世界に発信されるオープンソースでの不適切投稿は、個人的な写真の漏えいなど致命的な被害をもたらします。そうした監視可能な事案をパトロールするこの事業の維持・存続を訴えました。

答弁:当該事業の重要性は認識しているので、より効率的な方法を検討しながら存続させていきたいと考えている。

②ラウンドアバウトの導入(環状交差点)

平成26年に制度化されたラウンドアバウトは、交通信号機と違って電気代や通信料、施設の維持管理にほとんど費用の



かからないエコな交通管制システムです。毎年億単位の信号機更新費用がかかっている現状に対し、持続可能な「高質な田舎」にふさわしい交差点形態として、可能な箇所にはラウンドアバウトを検討してみようことを求めました。

答弁:県内に適地が見当たらず、また費用対効果の面でも疑問なので進まなかったが、試験的な導入も含めて検討してみる。

③超小型モビリティ

平成25年から平成27年まで全国で導入促進事業が行われた「超小型モビリティ」の普及が進んでいません。県でのこれまでの取り組みと認識を問いました。

答弁:価格面で軽自動車に対抗できず、安全面での不安もあり普及が進んでいない。自動車メーカーは自動運転の方に舵を切っているようだ。本県でも仙北市が自動運転バスの実験を行う予定である。

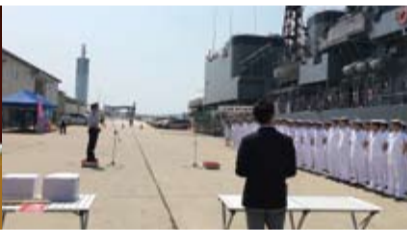


まず、“今”の秋田を創る！  
けんたの仕事

小さな成果ですが、初当選以来これまでに私が影響を及ぼした(と自分では思っている)実績です！



秋田県議会にて



護国艦せとぎり入港式典



湯沢地熱発電所を視察



自衛隊行事で若手議員と

実績 外国クルーズ船の受入スキルアップ

うすうす当局もやる気だったところに提言⇒『実現』のパターン

秋田に寄港する大型豪華客船の乗客対応が不十分であったため、それまで観光と無関係な部署に任せきりだった受入業務を観光関連部署と緊密に連携するよう働きかけました。

⇒昨年夏よりボランティアによる通訳支援や市中心部へのシャトルバス運行、周辺施設への周知徹底など目覚ましく改善！

実績 子育て世代へのリフォーム支援

提言⇒『ちょっと違う形で実現』のパターン

地方創生特別委員会において、「賃貸アパートで3人の子を育てるのは本当に大変である(経験あり)。空家を移住者に提供する施策があるが、まずは子育て世帯に戸建ての空家を公営住宅として賃貸し、例えば10年賃料を回収すればそのまま譲渡するなど思い切った住宅支援策をすべきである」

と発言したところ、従来のリフォーム支援事業が子育て世代向けに拡充。第3子のいる世帯なら20%(40万円)、空家なら1人でも30%(60万円)と大幅に強化！

実績 新文化施設に駐車場増設？

『他の多くの議員も言っているが、私も言った』のパターン

昨年末に自ら行った独自アンケート結果をもとに、「駐車場は必要ない」と主張していた当局に対して、利用客やイベント主催者が強硬に駐車場を求めている事実を主張。県は隣接する高校の敷地を駐車場に転用する構想を発表。(20億円かけての整備は想定外でしたが…現在審議中)

実績 次世代公共交通戦略の勉強会発足！？

誰も言っていなかったことを提言⇒『妥当性があつたのでたまたま実現』のパターン

6月議会の一般質問(前述)をきっかけに、自動車を運転できない高齢者が激増する近未来での公共交通システムを調査研究するための勉強会が発足するかもしれません。(予算要求中)

実績 地元での活動も…

□利用者数が100人を超えることもある広面小学校の児童館。トイレが和式で古く、慣れない子どもたちが我慢しているとの情報を受け、地元の見上り子市議や佐藤こうえつ市議のご協力を頂いて新しい洋式トイレを整備していただきました。

□大雨のあと2日たっても水たまりが消えず、「市内最悪の水はけ」と名高かった広面小学校のグラウンド。関係者一丸となって必要性を訴え、穂積市長がついに「平成29年度中に改修します」と明言(広面の夏祭り会場&広面地区運動会)。まだ秋田市の来年度当初予算は未定ですが、地元の期待は大きいです…。



広面小を視察する穂積市長

『けんたの』要望活動の方針』 県民の大切な財源を使う以上「地元議員の力で何でもゴリ押し」では筋が通りません。地元や企業ははじめ様々な要望をいただきますが、他と比べて著しく不備があったり、「県」という視点で公平に考えて必要性が高いと認められるご提案はどこまでも実現に向けて努力いたします。一方で、大切なのはわかるものの、限られた財源の中で実現が難しい場合もあるということをご理解いただければ幸いです。

これまでの主な活動 (28年度抜粋)

- 4月 BB開幕戦 能代政治塾「ど本気」 市内放課後児童クラブ×3ヶ所、児童館視察 海士町長講演会 学生イベント「アキコネ」

- 5月 三吉神社春季例大祭 宇都参議院議員と学生の防衛勉強会 秋田県警察学校視察 金足農業高校視察 店っあさみない視察(五城目) シェアビレッジ町村視察(五城目) 秋田内陸線夢列車PJ説明会 秋田犬ツーリズム視察(大館市) 東北防衛局講演会主催

- 6月 食と芸能の大祭典開会式 自民党青年部一斉街頭演説 健やかまつり 若手農家との意見交換会 ITシズマツチング(東京)

- 7月 秋田市消防操法大会 合同就職面接会(秋田市) Aターン就職面接会(東京) 秋田県食肉流通公社 ASEAN次官級交通政策会合 護国艦せとぎり入港式典 広面の夏祭り 三皇祭

- 8月 羽後町「端縫いの郷」 山葵沢地熱発電所(湯沢) 県立総合射撃場(由利本荘) 秋田県若手政治家ネットワーク TKC台湾ビジネス研修会 小型風力発電所視察(由利本荘岩城) 雄物川花火大会 田沢湖キャンプ場視察(兼家族サービス) 次世代農業セミナー 県政座談会×3ヶ所 能代宇宙イベント 大曲の花火大会視察(兼県外客の案内) 観光振興議員連盟視察(函館)

- 9月 にかほ高校IT教育視察 護国神社清掃 プラチナクルナイト 県政座談会×3ヶ所 全市一斉運動会 ノリッジャパン食品加工工場視察 情報産業協会ANIA全国大会 Next5「UNDER THE SUN」 三吉節全国大会 秋田駐屯地記念行事 千秋花火 スポーツマスターズ秋田大会開会式

- 10月 東大阪市工業集積地視察 鶴橋コリアンタウン視察 武雄市図書館視察 福岡ヤフオクドーム視察 党青年局常任委員会(東京) あなたの街で県議会(羽後町) 国連協会講演会 根子番楽特別講演会 護国神社秋季例大祭 木質バイオマス発電所視察 新文化施設に関する討論会 パブでパブコメ 日本女性会議 スローエアロビック講習会

- 11月 超小型木質バイオマス発電施設(湯上) あなたの街で県議会(男鹿) 仙北市自動運転バス実験視察 全国都道府県議員交流大会(東京) 自民党青年局北海道・東北ブロック会議主催 あなたの街で県議会(能代) 三皇熊野神社秋祭り

今年もやります！  
けんたを励ます会  
今年も  
県内若手首長とのトークショー  
10年後の秋田を語る！  
日時:平成29年1月20日(金)18:00~  
会場:秋田キャッスルホテル  
会費:¥8,000  
☆ご参加希望の方はご連絡ください  
電話:018-883-0605

集会に呼んでください！

どんな小さな集まりでも結構です。県政に望むこと、聞きたいこと…皆様の生の声を伺いに「鈴木けんた」が参ります。

TEL.018-883-0605 けんた事務所まで